

児童通所支援 ぽっとまむ 放課後等デイサービス自己評価表(公)

公表: 令和 7 年 3 月 14 日

事業所名: ぽっとまむ

スタッフ数: 9人 回収率: 100%

区分	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している 点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	44%	56%		・グループごとで違う遊びをする際に、場所を分けて混乱のないようにしている。	・利用の規定基準は満たしているが、日によって増減が出ている。毎年年度替わりに見直しを行っているが、出来るだけ日によって利用人数の差が出ないように、今後も考えていく。
	2 職員の配置数は適切であるか	33%	44%	22%	・配置人数が少ない時は、他の部署と連携して配置人数を調整したりすることで、支援が回るように配慮している。	・職員が多い日と少ない日の差が激しい。毎日の職員配置が適切な人員になるよう勤務体系を考えていく。 ・必要に応じて新規職員の採用を増やしていく。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	44%	56%			・玄関のドアが外れやすく危険なので、外れにくいように改修を行う。 ・窓がまぶしい日があるので、カーテン等を設置を行う。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	78%	22%			
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	89%	11%		・保護者向けのアンケートを毎年実施し、アンケート結果を精査することで業務改善に繋げている。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	56%	22%			・ホームページでの公開はしているが、周知が出来ていないので、今後周知を行っていく。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	56%	33%			・基本的に外部評価は行わないこととしているが、問題があれば迅速な対応を行っていく。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	44%	33%	22%	・研修の機会を増やし、職員の資質の向上に努めている。	・年間を通して定期的に研修が行えるように考えていく。 ・外部講師への依頼も適宜増やしていく。	
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	89%	11%			
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	78%	11%			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	78%	11%			・チームで行えていないので、チームでプログラムの立案を今後行っていく。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	89%	11%		・同じ活動内容にならないよう、月間の活動を決め、バランスよく配置している。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	56%	44%		・個別活動、集団活動を上手く組み合わせ、バラエティーに富んだ計画の作成が出来ている。	・外出の機会が少ないので、外出の活動も可能な限り増やしていく。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	89%	11%			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	78%	22%			
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	56%	22%	22%		・月に1回のミーティングが、支援前の打ち合わせは実施しているが、日々は職員の終わる時間がバラバラで、情報共有が難しい。職員の集まりやすい時間を精査し、打ち合わせの時間を作ることで、情報共有出来るようにしていく。 ・すぐに共有できない場合は、メモ等で書いて回すことで共有する。
17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	67%	22%	11%			
18 定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	56%	22%	11%			

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している 点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	56%	22%	11%		

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している 点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	44%	44%			
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	89%	11%		・学校の校時表及び下校時刻の変更をご家族様より提供してもらうことで、送迎の調整を行っている。 ・迎えに行く時間が違っていた等のトラブルが発生した場合は、迅速な対応を行っている。	・学校との直接やり取りは、基本的に行わないこととなっている。ご家族様を介しての情報共有となるため、ご家族様との連携をしっかりと行っていき、ミスが減らしていく。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか					
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	67%	22%			
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか					
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	56%	33%			近隣地域に支援センターがないため、現状は連携をとるまでには至っていないが、今後、センター設立も聞いているので、是非、助言をうけたいと思う。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	33%	33%	33%		・殆ど行っていない。必要があれば検討する。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	56%	33%			
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	78%	11%			
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	33%	56%			
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	67%	11%	11%		
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	78%	11%			
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	44%	33%	11%		保護者会は設置しないこととなっているため、保護者同士の連携の機会は事業所としては行っていないが、必要に応じて仲介は行っていく。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	78%	11%			
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	56%	22%	11%		・行事予定等の発信はしているが、会報レベルでの発信は出来ていない。年間を通して定期的に会報を発行して伝達していく。
	35 個人情報に十分注意しているか	89%				
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	78%	11%			
非常時等の対応	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	44%	22%	22%		・殆ど行っていない。必要があれば検討する。
	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	78%	11%			
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			・自力で逃げるのが難しい子が多く通所している日を訓練日に選んだり、職員の動きを細かく決めず、臨機応変に動いてもらったり工夫をしている。	・訓練はしているが、もう少し火事や地震に対する危険性を子ども達に知ってもらうことが必要であるため、今後周知していく。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	78%	22%		・定期的に虐待研修を実施し、職員の啓発に努めている。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	78%	11%			
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	78%	11%	11%		

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している 点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	78%	11%			・ヒヤリハット自体の提出が少ない。職員にヒヤリハットの意義を説明し、月何件提出する等の目標を定めて提出を促す等、意識付けを行っていく。

\* 端数処理をしているので、すべてが合計100%にはなりません